

2020 年熊本大会プログラム(11 月 12 日・午前)

A 会場 (3F・大会議室 A4)	B 会場 (3F・中会議室 B3)	C 会場 (3F・中会議室 C1-2)
司会 嶋田五百里氏(信州大学) (09:30~10:30) 1A01(09:30~09:45)亜鉛担持直接脱硫触媒における亜鉛活性種の同定(コスモ石油)○鈴木伸也,山田 晃,時津総一郎,高橋駿佑,川井尊鷹,中嶋伸昌,(名工大)羽田政明 1A02(09:45~10:00)シリカ補強マトリックスを用いた β-ゼオライト混合触媒による <i>n</i>-ドデカンの接触分解 ―細孔構造と酸特性の影響― (三重大,三重県工研)○松浦真也,(三重大)橋本忠範,石原 篤 1A03(10:00~10:15)キュリーポイント・パイロライザーを用いたゼオライト含有シリカ階層構造触媒による低密度ポリエチレンの接触分解 (三重大,三重県工研)○松浦真也,(三重大)橋本忠範,石原 篤 1A04(10:15~10:30)モリブデン酸化物モノレイヤーを触媒とするナフタレンからテトラリンへの部分水素化反応 (鳥取大)○稲田凌介,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸	司会 渡部 綾氏(静岡大学) (09:30~10:30) 1B01(09:30~09:45)過酸化水素を用いたメタン部分酸化反応に活性を示す Ir 系複合酸化物の開発(熊本大)○入倉百花,大山順也,芳田嘉志,町田正人 1B02(09:45~10:00)Ce 導入 MFI 型ゼオライト担持 Pd 触媒による低温メタン酸化的カップリング反応(東北大)○芳田元洋,武藤郁弥,根谷 温,藪下瑞帆,真木祥千子,蟹江澄志,(東工大)横井俊之,(東北大,JST-CREST)村松淳司 1B03(10:00~10:15)ジアニオン性金属硫化物クラスターの熱安定性およびメタンとの反応性における対カチオン効果 (東工大,JST-PRESTO)○松本 剛,(中央大)栗原和人,(東工大)大須賀遼太,保田修平,野村淳子,(中央大)中田明伸,張 浩徹,(東工大)横井俊之 1B04(10:15~10:30)メタノール脱水反応での FER 型ゼオライト触媒のアルカリ処理効果 (徳島大)○霜田直宏,安藝優宏,加藤雅裕,杉山 茂	司会 横井俊之氏(東京工業大学) (09:45~10:30) 1C01(09:45~10:00)アンモニアボランからの水素生成反応に有効な TiO_2 担持非平衡 RhCu 合金触媒の開発(大阪大)○俊 和希,増田晋也,(大阪大,京都大-ESICB)森 浩亮,(大阪大,京都大-ESICB,JST-PRESTO)桑原泰隆,(大阪大,京都大-ESICB)山下弘巳 1C02(10:00~10:15)ハイエントロピー合金ナノ粒子の新規合成と CO_2 水素化活性 (大阪大)○橋本直樹,(大阪大,京都大-ESICB)森 浩亮,山下弘巳 1C03(10:15~10:30)メカノケミカル法を使用した Fe 骨格置換ゼオライトの合成(東北大)○田中銀平,根谷 温,芳田元洋,藪下瑞帆,真木祥千子,蟹江澄志,(東北大,JST-CREST)村松淳司
休憩 (10:30~10:45)	休憩 (10:30~10:45)	休憩 (10:30~10:45)
司会 菅沼学史氏(鳥取大学) (10:45~11:30) 1A05(10:45~11:00)機械学習による触媒設計 (日揮触媒化成)○黒木孝行,酒井伸吾,濱田 玲 1A06(11:00~11:15)RFCC プロセスにおける 3 環芳香族および 4 環芳香族の分解反応 (信州大)○嶋田五百里,渡邊勇太,(千代田化工)高塚 透 1A07(11:15~11:30)FCC 触媒の新規強制劣化方法 (コスモ石油)○千代田範人,佐藤一仁,中嶋伸昌	司会 霜田直宏氏(徳島大学) (10:45~11:30) 1B05(10:45~11:00)Urea-derived Cu/ZnO catalyst being dried by supercritical CO_2 for low-temperature methanol synthesis(Toyama Univ.)○P. Zhang, G. Yang, Y. Yoneyama, N. Tsubaki 1B06(11:00 ~ 11:15)Vapor-phase low-temperature methanol synthesis from CO_2-containing syngas <i>via</i> self-catalysis of methanol and Cu/ZnO catalysts prepared by solid-state method(Toyama Univ.)○F. Chen, P. Zhang, Y. Yoneyama, G. Yang, N. Tsubaki 1B07(11:15~11:30)Pt 担持モリブデン亜酸化物を用いた逆水性ガスシフト反応における可視光照射の影響 (大阪大)○楠 和樹,(大阪大,京都大-ESICB,JST-PRESTO)桑原泰隆,(大阪大,京都大-ESICB)山下弘巳	司会 大島一真氏(成蹊大学) (10:45~11:30) 1C04(10:45~11:00)メカノケミカル法による Ce 骨格導入ゼオライトの合成およびメタン転換活性評価(東北大)○根谷 温,芳田元洋,藪下瑞帆,真木祥千子,蟹江澄志,(東工大)横井俊之,(東北大,JST-CREST)村松淳司 1C05(11:00~11:15)Rh 含有ゼオライト触媒を用いた酸化的メタン改質反応におけるゼオライト骨格の役割 (東工大)○大須賀遼太, Bayarsaikhan S.,保田修平,朴 成植,(三菱ケミ)真鍋 亮,嶋 寿,堤内 出,(北海道大)福岡 淳,小林広和,(東工大)横井俊之 1C06(11:15~11:30)ゼオライトに導入した金属の状態がメタン転換活性に与える影響(東工大)○保田修平,大須賀遼太,(東北大)藪下瑞帆,(東北大,JST-CREST)村松淳司,(東工大)横井俊之

2020 年熊本大会プログラム(11 月 12 日・午前)

D 会場 (3F・中会議室 D1-2)	E 会場 (3F・中会議室 E1-2)	F 会場 (3F・中会議室 B1-2)
司会 今井裕之氏(北九州市立大学)(10:15～11:30) 1D01(10:15～10:30)UV・LED 照射下において生じる活性酸素の Sm_2O_3 によるメタンの接触酸化に対する影響 (徳島大)○杉山 茂,林 泰範,霜田直宏,加藤雅裕, (三菱ケミ)加藤裕樹,二宮 航 1D02(10:30～10:45)結晶性 $\text{Mo}_3\text{VO}_{11.2}$ への Ga の導入とプロパンア ンモ酸化活性(神奈川大)○石川理史,田中良裕,上田 渉 1D03(10:45～11:00)異金属元素導入した結晶性 Mo_3VO_x 複合酸化 物によるエタンから酢酸への気相選択酸化反応 (神奈川大)○田中良裕,大山泰輝,石川理史,上田 渉 1D04(11:00～11:15)銅錯体を内包した有機カチオン交換ゼオライ トを触媒としたベンゼンの過酸化水素による直接水酸化反応 (愛媛大)○田邊晃一,山口修平,八尋秀典 1D05(11:15～11:30)CO ガス処理で形態制御された担持 Ag ナノ粒 子上での CO 酸化反応(名古屋大)○田村武裕,沢邊恭一, (熊本大,京都大・ESICB)大山順也, (名古屋大,京都大・ESICB)薩摩 篤	Chair. Dr. T. Murayama(Tokyo Metropolitan Univ.) (09:30～10:30) 1E01(09:30～10:00)【Invited】Nano-catalyst engineering for storage and release of hydrogen energy using formic acid as a promising liquid carrier (Osaka Univ., Kyoto Univ.・ESICB)○K. Mori 1E02(10:00～10:15)CO_2-to-methanol hydrogenation catalyst by focusing on coordination structure of Cu species (Ibaraki Univ.)○S. Tada, (Univ. Tokyo)F. Otsuka, R. Kikuchi 1E03(10:15～10:30)Effects of supports for Pt-based catalysts on conversion of lignocellulosic biomass into aromatic monomers in supercritical water (AIST)○K. Yamazaki, (Tohoku Gakuin Univ.)R. Sasaki, T. Watanabe, S. Kuwano, (AIST)N. Mimura, O. Sato, A. Yamaguchi Break (10:30～10:45) Chair. Dr. T. Yoshikawa(Hokkaido Univ.) (10:45～11:30) 1E04(10:45～11:00)Role of acid sites for selective catalytic oxidation of NH_3: the case of niobium oxide supported precious metals catalysts (Tokyo Metropolitan Univ.)○M. Lin, B. An, T. Takei, T. Shishido, T. Ishida, M. Haruta, (Tokyo Metropolitan Univ., Yantai Univ.)T. Murayama 1E05(11:00～11:15)Reductive amination of HMF over beta zeolite-supported ruthenium bimetallic catalyst (JAIST)○X. Li, D. S. Le, S. Nishimura 1E06(11:15～11:30)Reaction mechanism of dechlorination of chlorofluoroalkene by hydrogen gas over intermetallic compound catalysts (TITECH)○T. Takayama, S. Ariyama, (AGC)T. Yamada, (TITECH)T. Komatsu	司会 天尾 豊氏(大阪市立大学)(09:30～10:45) 1F01(09:30～09:45)セシウム修飾セリアを担体としたルテニウム 系触媒によるアンモニア合成(成蹊大)○堀 文音,遅沢茉実, 深井公輔,宗宮 穰,大島一真,里川重夫 1F02(09:45～10:00)酸化セリウム担持ルテニウム触媒における酸 化セリウム結晶性のアンモニア合成活性への影響 (産総研)○小林慶祐,眞中雄一,Rahat J.,難波哲哉 1F03(10:00～10:15)温和な条件で高い活性を示す Co 系アンモニア 合成触媒の開発(名古屋大,京都大・ESICB)○佐藤勝俊, (大分大)辻丸琴子,(名古屋大)宮原伸一郎,小倉優太,永岡勝俊 1F04(10:15～10:45)【奨励賞受賞講演】希土類酸化物担持アンモニ ア合成触媒の開発とその活性点構造の解明 (京都大・ESICB)○佐藤勝俊 休憩 (10:45～11:00) 司会 ジア チンシン氏(出光興産)(11:00～11:30) 1F05(11:00～11:15)電場触媒反応における担体上でのプロトン濃 度の影響(早稲田大)○土井咲英,田中雄太,村上洸太,比護拓馬, (早稲田大,高知大)小河脩平,(韓陽大)Seo J. G., (早稲田大)常木英昭,関根 泰 1F06(11:15～11:30)焼結体形成による Cu ベースとしたカルコパイ ライト化合物光電極の作製 (大阪市大)○豊留拓弥,(甲南大)藤田わかば,池田 茂, (宮崎大)吉野賢二,(大阪市大)天尾 豊

2020 年熊本大会プログラム(11 月 12 日・午後)

A 会場 (3F・大会議室 A4)	B 会場 (3F・中会議室 B3)	C 会場 (3F・中会議室 C1-2)
司会 未定 市民講座 1(13:00～13:30)新しい風は西から～大学と高専の連携による新規の高等教育～ (九州大) 渡辺幸信 市民講座 2(13:30～14:00)二酸化炭素の大幅な排出削減のための e-fuel と いう考え方 (成蹊大) 里川重夫 休憩 (14:00～14:15) 市民講座 3(14:15～15:00)野球の超微と石油の超微 (愛媛マンダリンパイレーツ) 河原純一	司会 野村琴広氏(東京都立大学) (13:00～13:45) 1B08(13:00～13:15)異種ポリエチレンブレンドを one-pot 合成可能なフッ素四ケイ素雲母層間共固定化 Fe(III)-Ni(II)錯体系 hybrid 触媒の開発(埼玉大)○成田勇輝, (日本ポリケム)山本和弘,(埼玉大)平原実留,荻原仁志,黒川秀樹 1B09(13:15～13:30)フッ素四ケイ素雲母層間固定化イミノピリジン Ni(II)錯体触媒によるエチレンオリゴメリゼーション 一分岐オレフィン類生成に対する置換基効果― (埼玉大)○春田真吾,田中愛理,(日本ポリケム)山本和弘,(埼玉大)平原実留,荻原仁志,黒川秀樹 1B10(13:30～13:45)X 線全散乱による定量的構造決定に基づく Ziegler-Natta 触媒の形成過程の研究(北陸先端大)○和田 透,高棹玄徳,Chammingkwan P., Thakur A., 寺野 稔,谷池俊明 休憩 (13:45～14:00) 司会 塩野 毅氏(広島大学) (14:00～15:00) 1B11(14:00～14:15)Phillips 触媒における SiO₂表面上の Cr 種の構造分布に関する計算化学的検討 (北陸先端大)○八木勇太,和田 透,谷池俊明 1B12(14:15～14:30)ハーフチタノセン触媒による環状オレフィン共重合体の合成と特性解析 (都立大)○岡部正暉,原川仁志,野村琴広 1B13(14:30～14:45)Synthesis of (arylimido)niobium(V)-alkylidene complexes as olefin metathesis catalysts (Tokyo Metropolitan Univ.)○K. Chatchaipai boon, I. Izawa, K. Nomura 1B14(14:45～15:00)Ring-opening metathesis polymerization of cyclic olefins by (arylimido)vanadium(V)-alkylidene catalysts(Tokyo Metropolitan Univ.)○S. Mekcham, S. Chaimongkolkunasin, K. Nomura	司会 中村 勉氏(ENEOS) (13:00～13:45) 1C07(13:00～13:15)多成分系凝集モデル (MCAM) による原油の混合特性評価手法の検討 (JPEC)○橋本益美,辻 浩二,谷地弘志,加藤 洋 1C08(13:15～13:30)アスファルテン凝集挙動解析の 20 年 (出光,JPEC)○田中隆三,(北海道大)熊谷治夫, (産総研)鷹薮利公,森本正人,麓 恵里,佐藤信也, (東京大)原野幸治,(千葉大)森田 剛,(関西大)山本秀樹, (JPEC)鈴木昭雄 1C09(13:30～13:45)小角 X 線散乱法によるアスファルテン凝集緩和挙動のメゾスケール評価 (千葉大)○森田 剛,(産総研)森本正人,(関西大)山本秀樹, (出光,JPEC)田中隆三,(JPEC)鈴木昭雄 休憩 (13:45～14:00) 司会 松下康一氏(ENEOS) (14:00～14:45) 1C10(14:00～14:15)¹H-NMR 緩和時間測定法を用いたアスファルテン凝集構造緩和挙動の評価(北海道大)○熊谷治夫 1C11(14:15～14:30)アスファルテンのアルミナカラム溶出挙動と極性分布(産総研)○佐藤信也,森本正人,麓 恵里, (関西大)山本秀樹,(出光,JPEC)田中隆三,(JPEC)鈴木昭雄 1C12(14:30～14:45)ペトロリオミクスで同定したアスファルテン分子の凝集体モデル(産総研)○森本正人,佐藤信也,麓 恵里, (出光,JPEC)田中隆三,(JPEC)鈴木昭雄
15:15-15:20 会長挨拶 15:20-15:50 2019 年度表彰授賞式, 設備維持管理士優良事業所表彰式 16:00-17:00 学会賞受賞講演 17:15-18:15 特別講演「熊本城天守閣石垣の復旧について」 熊本城調査研究センター 嘉村哲也		

2020 年熊本大会プログラム(11 月 12 日・午後)

D 会場 (3F・中会議室 D1-2)	E 会場 (3F・中会議室 E1-2)	F 会場 (3F・中会議室 B1-2)
司会 檜垣昌司氏(太陽石油)(12:55～14:00) (12:55～13:00)装置部会長挨拶 (東亜石油)○坂巻正登 1D06(13:00～13:15)回転機の振動データの AI 解析による精度向上 と効率化(ENEOS)○佐藤 崇 1D07(13:15～13:30)MFR (Magnetic Flux Resistance) の実機適 用(出光)○鶴島 守,(住友化学)多田豊和 1D08(13:30～13:45)ボイラー過熱器管不具合事例紹介 (コスモ石油)○野尻真之介 1D09(13:45～14:00)水素改質炉管への全数非破壊検査適用による 効率化(出光)○鶴岡寛樹 休憩(14:00～14:15) 司会 長谷川勝宣氏(出光興産)(14:15～15:00) 1D10(14:15～14:30)OF ケーブルの引替工事の計画と実行 (富士石油)○鈴木隆彦 1D11(14:30～14:45)真空バルブ式タップ切替器採用による変圧器 諸問題への対応 (出光)○小宮満明,高橋幸訓,江藤計介 1D12(14:45～15:00)アルキレーション装置コンタクター用メカニ カルシールの信頼性向上への取り組み(富士石油)○新谷修司	Chair. Dr. T. Takayama(TITECH)(13:00～14:00) 1E07(13:00～13:30)【Invited】Development of Ni-Ir alloy catalyst for hydrogenation of unsaturated compounds (Osaka City Univ.)○M. Tamura 1E08(13:30～13:45)Hydroxyapatite supported polyvinylpyrrolidone-capped CuPd bimetallic catalyst for highly selective γ-butyrolactone <i>via</i> hydrogenation of succinic acid (JAIST)○D. S. Le, S. Nishimura 1E09(13:45～14:00)Ultrastable and selective catalyst for propane dehydrogenation using Pb-modified PtGa alloy (Hokkaido Univ.)Y. Nakaya, K. Shimizu, ○S. Furukawa Break(14:00～14:15) Chair. Dr. S. Nishimura(JAIST)(14:15～15:00) 1E10(14:15～14:30)Synthesis of zeolitic Mo-doped vanadotungstate materials with tailorable oxidability and acidity (Kanagawa Univ.)○M. Tao, S. Ishikawa, W. Ueda 1E11(14:30～15:00)【Invited】Development of nano-structured catalyst using oxide nanosheets (Kumamoto Univ.)○S. Ida	司会 熱海良輔氏(産業技術総合研究所)(13:00～13:45) 1F07(13:00～13:15)光スイッチング CO₂/ギ酸相互変換のための Fe-MOF を利用したリバーシブル触媒の開発 (大阪大)○松尾淳平,(大阪大,京都大・ESICB)森 浩亮,山下弘巳 1F08(13:15～13:45)【奨励賞受賞講演】アニオン交換膜形燃料電池 アノード用金属ナノ粒子触媒の研究 (熊本大)○大山順也 休憩(13:45～14:00) 司会 藤井重孝氏(千代田化工建設)(14:00～14:30) 1F09(14:00～14:15)Ba 添加ペロブスカイト型触媒におけるエタン 脱水素反応の理論的検討 (早稲田大)○七種紘規,伊東一陽,都甲健太,村上洗太, (分子研)斎藤 晃,(高知大)小河脩平,(早稲田大)常木英昭, (クボタ)前田 駿,橋本国秀,(早稲田大)関根 泰 1F10(14:15～14:30)高分子分散型均一系白金ナノ微粒子が触媒す るギ酸分解に基づく水素生成(大阪市大)○南 祐輔,天尾 豊

2020 年熊本大会プログラム(11 月 13 日・午前)

A 会場 (3F・大会議室 A4)	B 会場 (3F・中会議室 B3)	C 会場 (3F・中会議室 C1-2)
司会 里川重夫氏(成蹊大学)(09:00~10:00) 2A01(09:00~09:30)【奨励賞受賞講演】金属酸化物担持ニッケル触媒を用いた水素キャリアの製造・利用技術の開発 (京都市大)○室山広樹 2A02(09:30~10:00)【論文賞受賞講演】有機ハイドライド法における残存トルエン吸着除去 (早稲田大)鈴木智大,塩野兄鯉,眞鍋将太,矢部智宏,比護拓馬,小河脩平,○関根 泰 休憩(10:00~10:15) 司会 壱岐 英氏(ENEOS)(10:15~11:45) 2A03(10:15~10:30)メチルシクロヘキサン脱水素反応における Pt 触媒への Se の添加効果 (九州大)○伊藤大弥,山本 剛,岸田昌浩,(日鉄エンジニア)加藤 譲,森田健太郎,大橋亜珠香 2A04(10:30~10:45)トルエン水素化反応の変動操作における微量炭化水素生成予測手法の構築 (産総研,東工大)○松本秀行,(東工大)高井陽平,(産総研)熱海良輔,難波哲哉,小島宏一,辻村 拓 2A05(10:45~11:00)再エネ水素貯蔵を目的とした Toluene 水素化プロセスの非定常運転制御方法 (産総研)○熱海良輔,(産総研,東工大)松本秀行,(東工大)高井陽平,(産総研)小島宏一,辻村 拓 2A06(11:00~11:15)Pt/TiO₂ 上における低温メチルシクロヘキサン脱水素 (早稲田大)○福原可織,小阪美智,比護拓馬,(高知大)小河脩平,(千代田化工)角 茂,今川健一,(早稲田大)関根 泰 2A07(11:15~11:30)電場中での低温メタン水蒸気改質における担体の構造の影響(早稲田大)○永川華帆,高橋綾子,稲垣玲於奈,島本万貴,久井雄大,松田 卓,(韓陽大) Seo J. G.,(早稲田大)比護拓馬,常木英昭,(早稲田大,高知大)小河脩平,(オスロ大)Norby T.,(早稲田大)関根 泰 2A08(11:30~11:45)ギ酸塩／炭酸塩の相互変換を駆動する PdAg 合金ナノ粒子担持触媒の TiO_x被覆による高活性化 (大阪大)○下地雄貴,増田晋也,(大阪大,京都市大-ESICB)森 浩亮,(大阪大,京都大-ESICB,JST-PRESTO)桑原泰隆,(大阪大,京都大-ESICB)山下弘巳	司会 金田英伯氏(インペックスソリューションズ)(09:00~10:00) 2B01(09:00~09:15)水俣条約を踏まえた水銀除去装置の導入過程 (IH テクノ)○幾島賢治,(ダイソーエンジニア)菅 伸治,田中隆史,窪崎信之,(愛媛大)八尋秀典 2B02(09:15~09:30)水俣条約と水銀廃棄物の適正処理 (野村興産)○岩瀬博樹 2B03(09:30~09:45)無添着炭を用いた石油類中の水銀吸着挙動の検討(愛媛大)○山浦弘之,櫻井隼斗,山口修平,八尋秀典,(IH テクノ)幾島将貴,幾島嘉浩 2B04(09:45~10:00)石油精製業における原油コスト低減の方策 (石連)○浜林郁郎 2B05(10:00~10:15) (中 止) 休憩(10:15~10:30) 司会 石川理史氏(神奈川大学)(10:30~11:45) 2B06(10:30~10:45)金属間化合物の規則的な表面原子配列が触媒特性に及ぼす影響(東工大)○倉地康平,高山大鑑,小松隆之 2B07(10:45~11:00)担持合金触媒を用いたニトリルの水素化による一級アミンの合成(東工大)○藤枝崇周,高山大鑑,小松隆之 2B08(11:00~11:15)テトラヒドロフランの重合における固体酸触媒の酸性質,細孔特性の影響 (鳥取大)○古田理紗,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸 2B09(11:15~11:30)MFI 型バインダレスゼオライトを担体とする Cu 固定化触媒でのベンゼンの気相酸化反応 (神戸大)○宮本柊平,森本匡哉,谷屋啓太,市橋祐一,西山 寛 2B10(11:30~11:45)金属含有ゼオライトによるアルカンの芳香族化合物への転換(北九大)○今井裕之,高田舞香,池 祐樹	司会 石原 篤氏(三重大学)(09:30~10:30) 2C01(09:30~09:45)FCC 触媒の反応性に対する Al カチオン種の影響(日揮触媒化成)○山崎弘史,長谷川博紀,三津井知宏,水野隆喜 2C02(09:45~10:00)TiO₂ 担持 Rh₂P 触媒の水素化脱硫活性に対する Rh と P の相互作用の影響(室蘭工大)○小野太輝,神田康晴 2C03(10:00~10:15)高性能な軽油サルファーフリー水素化脱硫触媒の開発(日揮触媒化成)○内田浩司,松元雄介,田川和成 2C04(10:15~10:30)昇温硫化法によるリン化パラジウム触媒の耐硫黄性評価(室蘭工大)○神田康晴,上野 鍊,上道芳夫 休憩(10:30~10:45) 司会 永松茂樹氏(日揮ユニバーサル)(10:45~11:15) 2C05(10:45~11:00)Ga 交換 ZSM-5-アルミナ複合触媒を用いた <i>n</i>-pentane からの芳香族生成に及ぼすマトリックスの影響 (三重大)○石原 篤,児玉悠太,橋本忠範 2C06(11:00~11:15)軽質炭化水素の脱水素における鉄系触媒の反応特性評価(静岡大)○渡部 綾,横山遵匡,依田裕太,(コスモ石油)宮城裕一,栢木翔太,大塩敦保,(静岡大)福原長寿

2020 年熊本大会プログラム(11 月 13 日・午前)

D 会場 (3F・中会議室 D1-2)	E 会場 (3F・中会議室 E1-2)	F 会場 (3F・中会議室 B1-2)
司会 寺井 聡氏(東洋エンジニアリング) (09:15～10:15) 2D01(09:15～09:30)ハニカム型触媒のガス流れ方向における触媒反応解析(名工大)○山本朋佳,羽田政明 2D02(09:30～09:45)HC-SCR における炭化水素の改質過程の検討(早稲田大)○西岡海斗,松方正彦 2D03(09:45～10:00)ゼオライト触媒による有機溶媒中のポリプロピレン分解反応の検討(早稲田大)○大道康平,酒井 求,松方正彦 2D04(10:00～10:15)廃棄 CFRP の熱分解リサイクルにおける排気ガスの軽質化(成蹊大)○大島一真,(フロンティア・ラボ)藤井大将,(成蹊大)森田一将,保阪真喜,(フロンティア・ラボ)室井高城,(成蹊大)里川重夫 休憩(10:15～10:30) 司会 永岡勝俊氏(名古屋大学) (10:30～11:30) 2D05(10:30～10:45)ヒドロキシアパタイト担持 Rh 触媒による NO の選択的還元(都立大)○土井 隼,(都立大,京都大-ESICB)三浦大樹,宍戸哲也 2D06(10:45～11:00)水蒸気存在下での低温脱硝を目指したタンゲステン添加酸化バナジウム触媒(都立大)○猪股雄介,(中国電力)清永英嗣,盛田啓一郎,吉田和広,(北海道大)窪田博愛,鳥屋尾 隆,清水研一,(都立大)春田正毅,(都立大,煙台大)村山 徹 2D07(11:00～11:15)担持バナジウム触媒上での C₃H₆ 優先酸化反応における活性制御因子(名古屋大)○酒井亮佑,植田格弥,(名古屋大,京都大-ESICB)織田 晃,(熊本大,京都大-ESICB)大山順也,(名古屋大,京都大-ESICB)薩摩 篤 2D08(11:15～11:30)オレフィンの酸化的ジアセトキシル化に有効な担持 Pd-Te 触媒の構造解析(都立大)○保前勇太,(都立大,京都大-ESICB)三浦大樹,宍戸哲也	Chair. Dr. H. Miura(Tokyo Metropolitan Univ.) (09:00～09:45) 2E01(09:00～09:15)Low temperature catalytic cracking of <i>n</i>-hexane over bifunctional catalyst containing of Rh and ZSM-5 (TITECH)○H. Fujitsuka, M. Yamaji, T. Tago 2E02(09:15～09:30)Synthesis of high-dimensionally structured Mo and W oxide and its oxidation properties (Kanagawa Univ.) ○K. Shimoda, M. Miyasawa, S. Ishikawa, W. Ueda 2E03(09:30～09:45)Effect of para-substituent in ethylene copolymerizations catalyzed by phenoxy-modified half-titanocene catalysts (Tokyo Metropolitan Univ.)○S. Kitphaitun, K. Nomura 休憩(09:45～10:00) 司会 野村琴広氏(東京都立大学) (10:00～10:45) 2E04(10:00～10:45)【招待】分子の気持ちで考える自己組織化—高分子ナノ材料における高次構造と特性相關—(熊本大)○國武雅司 司会 和田 透氏(北陸先端科学技術大学院大学) (10:45～11:30) 2E05(10:45～11:30)【招待】セルロースナノファイバーのみで作る高機能材料の可能性(利昌工業)○奥村浩史	司会 菅井裕一氏(九州大学) (09:00～10:00) 2F01(09:00～09:15)米国シェールオイルは新フェーズに(JOGMEC)○伊原 賢 2F02(09:15～09:30)ジェットポンプ採油坑井におけるアスファルテン・パラフィン共析物による影響の低減を目的としたパラフィンインヒビターのフィールドテスト結果(INPEX)○福田 潤,黒澤誠治,吉本達哉 2F03(09:30～09:45)CO₂ 含有天然ガス集ガスラインの高流速化に伴う腐食抑制剤の選定(INPEX)○砂場敏行,伊藤 孝,平野 奨 2F04(09:45～10:00)我が国の地熱開発の現状と課題(出光)○後藤弘樹 休憩(10:00～10:15) 司会 伊原 賢氏(石油天然ガス・金属鉱物資源機構) (10:15～11:00) 2F05(10:15～10:30)マイクロバブル技術を適用した CCS/CCUS (EOR) への取り組み(石油資源開発)○中野正則,上田 良,(RITE)薛 自求 2F06(10:30～10:45)Study of the influences of fine particles on thermal property of heavy crude oil by using TG-DTA analysis (Kyushu Univ.)○V. Mom, R. Nguele, K. Sasaki, Y. Sugai 2F07(10:45～11:00)酸化アルミニウムナノ流体を用いた重質油の増進回収技術の検討(九州大)○井上紘希,Nguele R.,佐々木久郎,菅井裕一 司会 中川裕幸氏(石油資源開発) (11:00～11:30) 2F08(11:00～11:30)【論文賞受賞講演】原油増進効果に対する炭酸水と炭酸塩岩の相互作用の影響—実験と地化学モデリング—(JOGMEC)○下河原麻衣,(北海道大)Yogarajah E.,名和豊春,(JOGMEC)高橋 悟

2020 年熊本大会プログラム(11 月 13 日・午後)

A 会場 (3F・大会議室 A4)	B 会場 (3F・中会議室 B3)	C 会場 (3F・中会議室 C1-2)
司会 菊地隆司氏(東京大学) (13:15~14:30) 2A09(13:15~13:45)【奨励賞受賞講演】均一系触媒を用いた二酸化炭素利用技術の研究(産総研,東工大)○眞中雄一 2A10(13:45~14:00)MOF 修飾 PdAg/TiO₂ 触媒による CO₂ 水素化反応の活性向上(大阪大)○小西淳之, (大阪大,京都大・ESICB)森 浩亮, (Sorbonne Univ.)Louis C.,(大阪大,京都大・ESICB)山下弘巳 2A11(14:00~14:15)室温域で起動する CO₂ の auto-methanation による新しい CCU 技術 (静岡大)平田 望,尾崎 綺,渡部 綾,○福原長寿 2A12(14:15~14:30)火災噴霧熱分解法を用いた CO₂ メタン化用 Ni 触媒の高担持量化(山形大)○藤原 翔	司会 黒川秀樹氏(埼玉大学) (13:15~14:00) 2B11(13:15~13:30)Synthesis and properties of star polymers with norbornene/α-olefin gradient copolymer arms using <i>ansa</i> fluorenylamidodimethyltitanium-[Ph₃C][B(C₆F₅)₄] catalyst system(Hiroshima Univ.)○H. Yuan, R. Tanaka, Y. Nakayama, T. Shiono 2B12(13:30~13:45)ポリ(ノルボルネン-<i>co</i>-ポリブタジエンマクロモノマー)の合成とその性質 (広島大)○串間由依,田中 亮,中山祐正,塩野 毅 2B13(13:45~14:00)非環式ジエンメタセシス重合によるパイオベースポリマーの合成と特性解析 (都立大)○小嶋美華, Chaijaroen P.,松本祐一,野村琴広	司会 萩原和彦氏(コスモ石油) (13:15~13:45) 2C07(13:15~13:45)【技術進歩賞受賞講演】ステンレス鋼用塩素フリー加工油の開発とその潤滑性能に関する研究 (ENEOS)○高木智宏
休憩 (14:30~14:45)	休憩 (14:00~14:15)	休憩 (13:45~14:00)
司会 眞中雄一氏(東京工業大学) (14:45~15:45) 2A13(14:45~15:00)胃酸脱水素酵素が触媒する CO₂ 還元反応に関する研究(大阪市大)○佐藤涼平,天尾 豊 2A14(15:00~15:15)リンゴ酸酵素が触媒する二酸化炭素固定反応に対する補因子の効果(大阪市大)○片桐毅之,天尾 豊 2A15(15:15~15:30)鉄系触媒を用いる CO₂ 水素化による低級オレフィン合成(北九大)○朝見賢二,一色美緒,大庭亮介,森 翠 2A16(15:30~15:45)水中での直接 CO₂ 活性化によるギ酸合成のための PdAg 担持親水性素素ドーブカーボンシリカ (大阪大,京都大・ESICB)○森 浩亮,(大阪大)増田晋也, (Sorbonne Univ.)Louis C.,(大阪大,京都大・ESICB)山下弘巳	司会 萩原和彦氏(コスモ石油) (14:15~14:45) 2B14(14:15~14:30)IMO (International Maritime Organization: 国際海事機関) 規制適合油の製造と課題 (ENEOS)○鈴木和貴,鎌田健裕,雨宮正臣 2B15(14:30~14:45)ダイレクトヒーティング搭載 GC を用いた装置集約によるヘリウム削減対策 (ENEOS)○中野一生,木村一彦	司会 藤井重孝氏(千代田化工建設) (14:00~15:15) 2C08(14:00~14:15)ペトロリオミクス技術を活用した重質油の分子構造と残炭分の相関解析 (JPEC)○新宅 泰,佐瀬 潔,加藤 洋,(日揮触媒化成)渡部光徳 2C09(14:15~14:30)RDS/RFCC 全体最適処理技術開発 ―触媒システムによる全体反応制御 (第 2 報) ― (出光)田中隆三,平松義文,坂倉 圭,○三浦裕紀,原田真吾 2C10(14:30~14:45)重質残査油の RFCC 原料化のための RDS 触媒システム開発 (第 5 報) 実機 RDS 装置による触媒システムの検証(ENEOS)○松下康一,東 正浩,永易圭行,中岡哉徳 2C11(14:45~15:00)重質残査油の RFCC 原料化のための RDS 触媒システム開発 (第 6 報) 残油水素化精製評価の効率化を目指した高速反応評価 (HTE) 技術の開発(ENEOS)○中岡哉徳,小林正英,可児正也,永易圭行,松下康一 2C12(15:00~15:15)RDS/RFCC 全体最適処理技術開発 ―トリクルベッド内気液流体の CFD モデリング (第 2 報) ― (出光)田中隆三,平松義文,○坂倉 圭,三浦裕紀,原田真吾
休憩 (15:45~16:00)	休憩 (14:45~15:00)	休憩 (15:15~15:30)
司会 大塩敦保氏(コスモ石油) (16:00~17:00) 2A17(16:00~16:15)Pt 担持モリブデン亜酸化物触媒を用いた CO₂ からのメタノール合成反応における酸素欠陥の役割 (大阪大,京都大・ESICB,JST・PRESTO)○桑原泰隆, (大阪大)三保本隆志,(大阪大,京都工繊大)小林久芳, (大阪大,京都大・ESICB)山下弘巳 2A18(16:15~16:30)メタンからのメタノール直接合成を指向した Fe 置換ポリオキソタングステート触媒の開発 (東京大)○矢部智宏,和知慶樹,鈴木康介,山口和也 2A19(16:30~16:45)CO₂ 水素化によるメタノール合成のためのスポンジ銅とジルコニアの複合触媒 (成蹊大)木下和也,本間優花,(成蹊大,北京理工大)高 志明, (成蹊大)大島一真,○里川重夫 2A20(16:45~17:00)銅系共沈触媒の新規合成法とその触媒特性 (九州大)○斉間 等,戸高昌俊,(JFE スチール)茂木康弘	司会 田村正純氏(大阪市立大学) (15:00~16:15) 2B16(15:00~15:15)1, 2-Dichloro-1,1-difluoroethane (HCFC132b) の水素化脱塩素反応 (関西大)○川上卓也,(東ソー・ファインケム)高宮裕樹, (関西大)佐々木完治,佐野 誠,三宅孝典 2B17(15:15~15:30)ニトリルの選択的水素化反応に高い活性を示すナノ合金触媒の開発(名古屋大)○西田吉秀, Chaudhari C., (名古屋大,京都大・ESICB)佐藤勝俊,(名古屋大)永岡勝俊 2B18(15:30~15:45)イリジウム錯体と金属酸化物の複合による脱水素化用固体触媒の開発(香川大)○和田健司,空田大地郎, 馮 旗,(京都大)西岡正明,藤田健一 2B19(15:45~16:00)金属酸化物修飾が担持 Au 触媒の <i>sp</i>³ C-O 結合ポリル化に対する活性に与える影響(都立大)○福田要平, 蜂屋祐香,(都立大,京都大・ESICB)三浦大樹,宍戸哲也 2B20(16:00~16:15)担持 Au 触媒を用いた芳香族 <i>sp</i>² C-H 結合のシリル化(都立大)○平田竜士,豊増智也, (都立大,京都大・ESICB)三浦大樹,宍戸哲也	司会 片田直伸氏(鳥取大学) (15:30~16:15) 2C13(15:30~15:45)分子構造情報を活用した RFCC 分子反応モデルの構築 (第 2 報) (JPEC)○松本幸太郎,高橋祐樹,佐瀬 潔,加藤 洋 2C14(15:45~16:00)分子組成データの活用による原油 AR の反応性予測手法の検討(JPEC)○辻 浩二,橋本益美,加藤 洋 2C15(16:00~16:15)分子構造属性を用いた重油処理解析 ―原油の重質度の影響評価― (ENEOS)○岩間真理絵,柴田悠一,島田孝司,松下康一 司会 中野宏二氏(日揮触媒化成) (16:15~17:00) 2C16(16:15~16:30)極性レジン FT-ICR MS 測定における GPC による包括性向上(JPEC)○片野恵太,鈴木昭雄,加藤 洋 2C17(16:30~16:45)Ir/Al₂O₃ を触媒とする高圧水素中でのデカリン開環反応(鳥取大)○金治弘樹,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸 2C18(16:45~17:00)実減圧軽油中のアルキル多環芳香族の脱アルキル化活性に対するアルミナ担持シリカモノレイヤー触媒の担体の影響 (鳥取大)○胡摩智英,中野史哉,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸

2020 年熊本大会プログラム(11 月 13 日・午後)

D 会場 (3F・中会議室 D1-2)	E 会場 (3F・中会議室 E1-2)	F 会場 (3F・中会議室 B1-2)
司会 高本 仁氏 (ENEOS) (13:15～15:30) 2D09(13:15～13:30)熱交換器汚れを低減する添加剤に関する検討 (コスモ石油)○深津直矢,飯塚喜啓,岩船聖敏,新井 涼,小森一幸 2D10(13:30～13:45)高温流体プロセス模擬装置を用いた熱交換器 汚れの評価 (コスモ石油)○飯塚喜啓,深津直矢,小森一幸 2D11(13:45～14:00)排水処理設備の能力を診断するモバイル装置 の活用事例(コスモ石油)○斎藤勇人,豊田光宏,小森一幸 休憩 (14:00～14:15) 2D12(14:15～14:30)IoT を用いた「フィールド作業支援システム」 による設備信頼性／安全性の向上(昭四石油)○小西英則 2D13(14:30～14:45)DCS HMI グラフィック画面の社内統一ルー ル (ガイドライン) の設定(東亜石油)○柳杭田成一,後藤規正 2D14(14:45～15:00)ラボ品質管理システム (LIMS) の更新と品質 管理・人財育成のデジタル化推進について (太陽石油)○立山 努,教蓮 亨,永野友浩,緒方和也 2D15(15:00～15:15)電動機状態監視保全システムの開発 (東芝三菱産業シス)○秦 康博 2D16(15:15～15:30)広域ガス監視システムの高度化 (コニカミノルタ)○都築斉一 休憩 (15:30～15:45) 司会 平子雅浩氏 (出光興産) (15:45～17:00) 2D17(15:45～16:00)過酷な腐食環境下における防食対策と事例 (ハイテックジャパン)木村保久,○藤井謙二 2D18(16:00～16:15)製油所におけるデジタル技術活用と作業改善 ―360° ビューカメラの活用など―(ENEOS)○伊藤裕之 2D19(16:15～16:30)油汚染土壌における汚染の判定調査方法およ び汚染土壌処理方法の開発(コスモエネジ)○牧 俊一, (エンバイオ・エネジ)上村宏允,比嘉一葉,市橋永吉 2D20(16:30～16:45)石油精製装置におけるボルトカジリ改善検討 ―ノルトロック社製品スーパーボルト®の適用評価― (出光)○石坂晃一 2D21(16:45～17:00)フランジからの漏えい防止に対する元請会社 の締結教育とその評価 (続報) (レイズネクスト)○近藤康治,浦野正夫,小川英之	司会 宮地輝光氏 (東京工業大学) (13:15～14:15) 2E06(13:15～13:30)固体触媒によるキチンから乳酸への変換技術 (産総研)○山口有朋, (AIST, Chulalongkorn Univ.)Kun-asa K., (Chulalongkorn Univ.)Reubroycharoen P.,(産総研)山崎清行, 三村直樹,佐藤 修 2E07(13:30～13:45)高压二酸化炭素下における高温メタノール水 溶液中でのバイオマスモデル部位の加溶媒分解反応 (岩手大)○谷口賢吉,七尾英孝,(産総研)佐藤 修,山口有朋, (岩手大,産総研)白井誠之 2E08(13:45～14:00)木質バイオマスの熱分解ガス化に対する鉄鉍 石共存の効果(九州大)廣田順哉,○戸高昌俊,齊間 等, (JFE スチール)茂木康弘 2E09(14:00～14:15)貴金属系複合触媒によるプロリンの水素化 (鳥取大)○加来知奈実,菅沼学史,辻 悦司,片田直伸 休憩 (14:15～14:30) 司会 蒲池利章氏 (東京工業大学) (14:30～15:30) 2E10(14:30～15:15)【招待】熱溶菌糸状菌を用いた廃棄バイオマス の糖化およびエタノール発酵 (福島大)○杉森大助 2E11(15:15～15:30)Y₂O₃ 触媒によるグルコースからの乳酸一段合 成とその反応経路(都立大)○畑 大地,相原健司, (都立大,京都大-ESICB)三浦大樹,宍戸哲也 休憩 (15:30～15:45) 司会 鳥羽 誠氏 (産業技術総合研究所) (15:45～17:00) 2E12(15:45～16:30)【Invited】Development of algal bioenergy systems for green and sustainable ASEAN region (Kumamoto Univ.)○A. T. Quitain, (Chulalongkorn Univ.) S. Assabumrungrat, (ITS) S. Zullaikah, (De La Salle Univ.) R. Tan, J. Auresenia, (Kumamoto Univ.) T. Kida 2E13(16:30～16:45)光化学系 II 再構成膜を用いたメタンモノオキ シゲナーゼによる光駆動メタン／メタノール変換への電子伝 達体添加効果 (東工大)○関戸峻太,杉本 航,伊藤榮紘,蒲池利章 2E14(16:45～17:00)ビタミン B₁₂ によるメタン資化性菌 <i>Methylosinus trichosporium</i> OB3b の増殖促進 (東工大)○宮地輝光,古谷大稀,折田和泉,馬場俊秀	司会 中川裕幸氏 (石油資源開発) (13:15～14:00) 2F09(13:15～14:00)【招待】熊本地域におけるエネルギー資源とそ の現状 (熊本大)○松田博貴 休憩 (14:00～14:15) [連続プロセスオペレーション自動化技術の現状と将来展望 シンポジウム] 司会 樋口文孝氏 (出光興産) (14:15～15:45) 2F10(14:15～14:45)【招待】プロセス産業におけるオートメーショ ン化への期待と要件 (東工大)○淵野哲郎 2F11(14:45～15:15)【招待】ISA 標準を中心としたプロセス産業の 自動化に関する考察 (東農工大)○北島慎二 2F12(15:15～15:45)【招待】MTP の標準化の動向と横河電機の取り 組み (横河電機)○黒川晋平 休憩 (15:45～16:00) 司会 淵野哲郎氏 (東京工業大学) (16:00～17:00) 2F13(16:00～16:30)【招待】AI・シミュレータ連携技術による予測・ 最適化のプラント適用事例紹介 (千代田化工)○平松隆志 2F14(16:30～17:00)【招待】自律型 APC システムと垂直統合型の オペレーション最適化自動制御紹介 (アスペンテック)○高里耕治